

### (3) 大学院

#### 大学院教育

- ・講義（特修科目）

大学院の各講義科目は受講者数が少ないため、感染対策を徹底したうえで対面で開講されたものが多く、新型コロナウイルスの影響は比較的小さかった。

- ・大学院生の研究活動（主要科目、研究指導科目：修士研究、博士研究）

感染対策を徹底したうえで通常通り継続実施された。

#### 大学院入試

以下のように、大学院入試に対する新型コロナウイルスの影響は比較的小さかった。

- ・推薦入試

国内での感染状況が比較的落ち着いていたため、感染対策を講じた上で対面で実施された。

- ・秋入試

第5波のピーク直後の時期ではあったが、感染対策を講じた上で対面で実施された。

- ・春入試

感染がかなり拡大した第6波ピークの時期ではあったが、感染対策を講じた上で通常通り対面で実施された。

#### その他

- ・理学研究科新入生ガイダンス（令和2年4月1日）

令和2年度同様、時間を短縮して対面で実施した。学位取得に向けたスケジュールや修学のための支援制度等について、要点のみに絞って説明を行った。

- ・日本学生支援機構奨学金返還免除推薦候補者審査会（ヒアリング）

審査会の準備段階では感染者数は落ち着いており、従来通り対面で実施することで進めた。昨年と同様、感染防止対策もふまえて、18号館の大教室を会場とした。1月過ぎから第6波に見舞われたので、濃厚接触者等で出席できない人のために、急遽オンラインでの面接の準備も行ったが、1名の辞退者の除き全員対面で実施することができた。

- ・大学院生海外発表支援

全学的には申請者が少なかったものの、理学研究科からは7名の申請者があり、全員が採択された。ただし令和3年度は日本を含む多くの国で様々な渡航制限が継続していたため、中止や延期となった国際会議も多かった。そのため採択された院生のうちオンラインでの学会参加者はなかったが、4名はオンラインで発表を行い、その参加費には大学院生海外発表支援経費が充てられた。